



2012年7月14日発行

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島康 熊本市島崎4丁目5-13

## 立野ダムによらない自然と生活を守る会 いよいよスタート！



結成集会(熊本市パレア) 2012.5.19

5月19日、立野ダム建設中止を求める住民団体の結成集会を熊本市・パレアにて開きました。約40名の参加があり、会場もほぼ満員となりました。

スタッフによる「立野ダムの問題点と立野ダムに頼らない治水対策」と題したスライド上映のあとは、白川流域住民によるリレートーク。田上辰也熊本市議、平野みどり県議、松岡徹県議、松野信夫国会議員にも参加いただき、スピーチをいただきました。

その後、会の名称や会則、役員などについて検討。会の名称は「立野ダムによらない自然と生活を守る会」と決定しました。最後に「結成宣言」を採択し、阿蘇の大自然と白川の清流を、自然のままの姿で未来に手渡すことを高らかに宣言しました。

同日午後に行きました、大甲橋～銀座橋の白川堤防現地調査にも約10名の参加があり、①立野ダムの洪水時の水位低減効果は最大で20cmしかないこと。②堤防の整備がすすめば立野ダムがなくても6・26水害クラスの洪水でも余裕を持って安全に流せること、等を確認しました。

その後、会の名称や会則、役員などについて検



白川現地調査(銀座橋周辺) 2012.5.19

### 立野ダムによらない自然と生活を守る会 会則

【目的】熊本が世界に誇る阿蘇の大自然と白川の清流を、自然のままの姿で未来に手渡すために、立野ダム事業計画の中止を求める。

【役員】会長(中島康)、副会長(野村哲也)、事務局長(緒方紀郎)、事務局次長(内山隆)

【会計】本会の経費は年会費(一口1000円)と寄付金を以てこれに充てる。

【定例会】毎月1回程度、熊本市、大津町などで開催し、だれでも参加できることとする。

# 第1回 立野ダム予定地見学会を開きました



立野ダム予定地見学会 2012.4.21

4月21日、第1回立野ダム予定地見学会を開きました。約40名の方が参加されました。

立野ダムは、阿蘇外輪山（カルデラ）の唯一の切れ目である立野峡谷に国土交通省が計画した、洪水調節専用の穴あきダムです。ダムの高さは約90m。南阿蘇鉄道の線路の高さがダム上端の高さとなっていることを確認しました。ダムの大きさに皆さん驚かされていました。

立野ダムは、阿蘇くじゅう国立公園の36ヘクタールもの広大な自然を水没させます。水没する北向谷原始林は、国指定の天然記念物です。

また、立野ダム事業区域は阿蘇くじゅう国立公園の特別保護地域にも指定され、国土交通省の調査によると絶滅危惧種であるクマタカの生息も確認されています。立野ダムが建設されようとしている立野峡谷の大きさや美しさに、参加者の皆さんは驚かされていました。

立野ダム本体予定地に近づくと、右岸側に巨大な滝があります。周辺の地盤は、阿蘇火山から流下してきた立野溶岩で、冷却によって生じた角材状の割れ目（柱状節理）が多く見られることも確認しました。この割れ目はどこまでも続いており、ダムを造っても漏水のために水はたまりません。巨大ダムを建設するには非常に不適な地盤であることが分かりました。

最後に長陽大橋に移動して、橋のたもとから立野ダムにより水没してしまう北向谷原始林、立野峡谷、立野溶岩、白川黒川合流点、旧戸下温泉など、たくさんの自然遺産を確認しました。

7月29日（日）には第2回目の立野ダム予定地見学会を予定しています。現地をまだ見られていない方は、ぜひ見てください。立野ダム建設によって破壊される自然のすばらしさが実感できると思います。



角材状の割れ目が見られる立野ダム予定地の岩盤

立野ダム建設  
やはり不必要

内山 隆4611T業

(南阿蘇村)

4月21日、立野ダム予定地の見学会に参加し、見えました。驚きました。美しい北向山原生林も、鮎返りの滝も、オオタカのみずかみも、みんな沈みます。穴あきダムの常で、白川は汚れ、生き物がすめなくなるでしょう。この美しい阿蘇を、恵みの阿蘇を、殺してしまっているものでしょうか。

さらに、そこまでしてダムを造っても、洪水対策効果としては微々たるもので、熊本市の堤防建設が先だと思えます。万が一の場合を考える必要があるのか、考えたとしても、水田のあせを上げる手もあるそうです。全

【参加者の感想】  
熊本日日新聞投稿  
2012. 5. 9

く不要なダムだと思いましたが、聞くところによると、計画はいったん棚上げになったのに、民主党政権になって息を吹き返したとか。実際の効果やリスクはそっちのけで、ダム計画ばかりが進んでいます。費用は計画以上に増え続けます。お金も上げが本当は目的なので、はと勘繰ってしまいます。やっぱりこんなダムはいらぬのではないのでしょうか。

私もそうでしたが、こんな計画が進行中であることが知られていないのが不思議です。私たちみんなの問題として考えていかないと、未代までの禍根を残します。

# ●立野ダムによらない自然と生活を守る会 設立までの準備会としてのあゆみ

- 2011.10.7 熊本市長に「立野ダム建設促進に対する抗議文」を提出（副市長が対応）。
- 11.12 国交省、県、流域市町村による「立野ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」の意見募集（パブリックコメント）に対し、意見を提出。
- 12.1 国土交通大臣あてに「立野ダム建設中止を求める要望書」を提出。
- 12.26 熊本市役所前で立野ダム建設中止を求める早朝ビラ配り。  
「立野ダム計画および阿蘇と白川流域の自然保護に関する要望書」を、大津町長、南阿蘇村長、阿蘇市長あてに各役場を訪問し提出。
- 12.27 熊本県庁前で立野ダム建設中止を求める早朝ビラ配り。  
「立野ダム計画および阿蘇と白川流域の自然保護に関する要望書」を、熊本市長、高森町長、西原村長、菊陽町長あてに各役場を訪問し提出。
- 12.28 「立野ダム計画および阿蘇と白川流域の自然保護に関する要望書」を熊本県知事あてに提出。
- 2012.2.29 田上辰也市議が熊本市議会で「立野ダム建設による環境影響について」質問。
- 3.12 「県財政を圧迫する立野ダム計画中止を求める要望書」を熊本県知事あてに提出。
- 3.26 立野ダムで水没する北向谷原始林は国立公園の特別保護地区である点などについて環境省（阿蘇自然環境事務所）と意見交換。
- 4.11 12月1日提出の「立野ダム建設中止を求める要望書」に関して立野ダム工事事務所に説明を受け、意見交換。
- 4.21 第1回立野ダム予定地見学会（約40名参加）。
- 5.19 「立野ダムによらない自然と生活を守る会」結成集会（約40名参加）。



熊本市役所前で立野ダム建設中止を求める  
早朝ビラ配り 2011.12.26



熊本県知事あてに立野ダムに関する要望書を提出  
2011.12.28

# 阿蘇の大自然と白川の清流を 未来に手渡すために皆様へのお願い

## ●会員拡大にご協力ください！



「立野ダムによらない自然と生活を守る会」では、活動を広げていくために、今後も会員を拡大していきたいと思っております。今回、これまでダム問題に関する集会に参加されてきた方などに会報をお送りしました。年会費は一口 1000 円です。今回、会費払込用紙を同封させていただきました。ご支援ご賛同のほど、よろしくごお願い申し上げます。すでに会費を納入された方は、会員拡大にご協力頂ければ幸いです。

## ●7月28, 29日のイベント、9月22日の総会にご参加ください！

広島フィールドミュージアムの金井塚務さんをお招きし、会の結成後初めてのイベントを開催します。チラシを同封しました。9月22日には総会とシンポジウムを熊本市・パレアで開催します。内容などは後日お知らせします。是非ご参加ください。

## ●「ミニ集会」開催にご協力ください！

多くの方々に立野ダム問題について知っていただくために、「立野ダムを考えるミニ集会」をあちこちで開きたいと思っております。ご連絡いただければスタッフが会場を訪れ、スライド上映などを行います。少人数から開催OKです。

## ●まわりの方々に立野ダム計画のおかしさを伝えてください！

ご家族ご友人、職場やご近所の方々に、立野ダムは「百害あって一利もない」ことをお知らせください。立野ダムの熊本県の負担額は約271億円。県民1人あたり約15000円を立野ダムに負担することになります。私たちみんなの問題なのです。

## ●各新聞に投書しましょう！

投稿のあて先は、各新聞の投書欄をご覧ください。熊日新聞「読者の広場」の場合は…450字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号明記、電子メールの宛先 [hiroba@kumanichi.co.jp](mailto:hiroba@kumanichi.co.jp)

**編集後記** 「立野ダムによらない自然と生活を守る会」は、阿蘇の大自然と白川の清流を自然のままの姿で未来に手渡すために、立野ダムは百害あって一利もないことを、様々な活動を通して住民の皆様や各行政機関等に訴えていきたいと考えております。立野ダム事業区域では、絶滅危惧種であるクマタカの生息も確認されています。そこで、会報の名前も「クマタカ」としました。阿蘇カルデラは、熊本が世界に誇る自然遺産です。白川は、全国でも珍しいダムのない一級河川です。コンクリートのダムをつくるのではなく、阿蘇の草原を守り、白川中流域の農業を守ることが、白川の治水や熊本の地下水の保全にもつながります。皆様方のご支援・ご協力をよろしくごお願い申し上げます。(N.O.)